

派遣報告書（報告者；千原翔太）

大会名	第 54 回九州中学校バスケットボール競技大会		
開催地	佐賀県 武雄市 玄海町 他		
日 時	令和 4 年 8 月 3 日（金）～ 5 日（日）		
担当ゲーム 1	男子 1 回戦	赤江（宮崎 2 位）	vs 日宇（長崎 1 位）
相手審判	CC：佐藤（佐賀） U1：古賀（佐賀） U2:千原（大分）		
Pre-Game Conference			
・ Iot の確認 ・ キープレイヤー ・ メカニクスの確認			
Post-Game Conference			
インストラクター 松本氏（佐賀） ・ 3rd だったとしても、他の 2 人がアングルを持っておらず、判定をしなければならないケースがある。 ・ 確証がある場合以外で、レフリーが寄って行って確認することは、必要がない。行くならば必ずと言って良いほどの確証がなければならない。			
担当ゲーム 2	男子 2 回戦	城東（佐賀 2 位）	vs 日宇（長崎 1 位）
相手審判	CC：丸山（鹿児島） U1：渡久地（沖縄） U2:千原（大分）		
Pre-Game Conference			
・ 1 試合目の反省から ・ キープレイヤーの確認 ・ メカニクスの確認 ・ 接触について RSBQ			
Post-Game Conference			
インストラクター 藪崎氏（熊本） ・ 良い判定が多かった ・ チームの戦術や狙いに合わせてクルーワークをすることができた。			
担当ゲーム 3	男子 2 回戦	田崎（鹿児島 2 位）	vs 菊陵（福岡 2 位）
相手審判	CC：藪崎（熊本） U1：松永（長崎） U2:千原（大分）		
Pre-Game Conference			

- ・チームスカウディング
- ・キープレイヤー（ビッグマン）
- ・メカニクスの確認
- ・IoT と連携

Post-Game Conference

インストラクター 福岡（長崎）氏

- ・全体的に良い判定が多かった
- ・3Qのチャージングはヒットが浅いのに倒れていたの、ブロッキングコールで良いかもしれない。

今大会に参加しての感想など

今回の九州中学では、3試合共に大きなトラブルなくクルーで進行ができました。
今大会で1番痛感したことは、立ち姿・判定の見せ方の意識の低さとクルーワークの理解についてです。どのような判定をし、どのような位置や姿で指し示すのか。審判として原点とも言えるべきところが、抜け落ちていたように思います。判定の内容にもこだわり、その判定がどのように見え、受け取ってもらえるのかということも大切にしていきたいと感じています。クルーワークとしては、3人ですからその3rdの判定力を上げていきたいと思います。
また、24秒に関して微妙なケースがあり、情報がなく不用意に確認に行きました。そのことで、進行が遅くなってしまったり、ベンチからの不安や不満を招く動きだったと痛感しました。「行くならば確証を持って」を心がけ試合に臨みたいと思います。
今回で学んだことを今後の県内での活動に活かしてまいります。派遣いただきありがとうございます。